

教えちゃう

# とっておき スポット

1

切り出された石の壁と個性的な石の彫刻群。映画のワンシーンに出てきそうな風景に、異世界に迷い込んだ感覚に陥る。

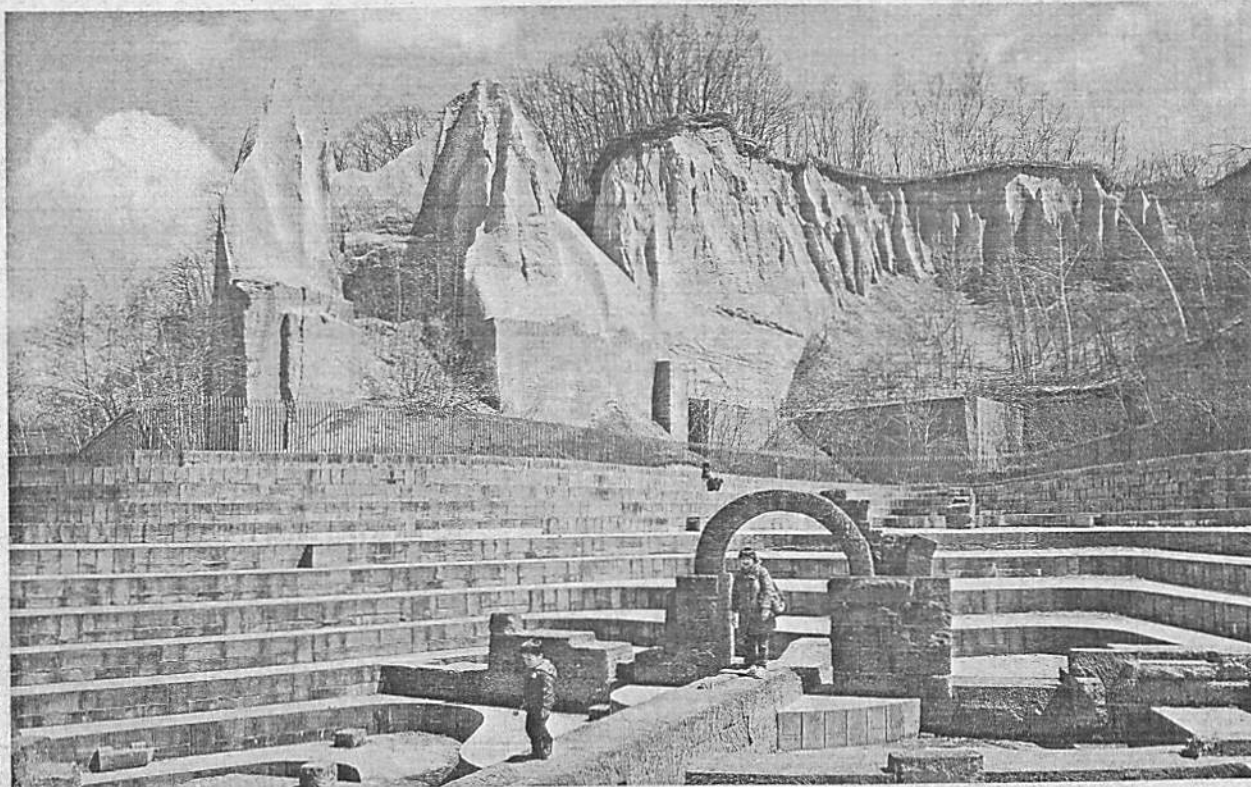
石山緑地は、札幌軟石の採掘跡地を利用し、札幌市が1996年に整備した。札幌ドーム2個分ほどの約12彩あり、真ん中を走る市道で南北2区画に分かれる。南側には道内の彫刻家が手がけたらせん状の水路や円形劇場が点在し、北側にはテニスコートや展望テラスを備える。歴史的に貴重な建造物や行事を市が選ぶ「さっぽろ・ふるさと文化百選」の一つだ。

「石山緑地は、札幌軟石のふるさと。柔らかくて温かい軟石の魅力が味わえます」。緑地近くの「辻石材工業」に勤め、市民グループ

石山緑地＝札幌市南区

## 巨大岩壁 まるで異世界

「札幌軟石文化を語る会」メンバーの小原恵さん(40)は語る。札幌軟石は、支笏湖を生み出した火山活動の火砕流が固まった「凝灰岩」。比較的軟らかくて加工しやすく、軽く保湿性にも優れ、明治時代に建築資材に多用された。70年代に採掘時の粉じんが問題となり、石山での採掘は中止されたが、辻石材工業だけが今も約5千離れた同市南区常盤で採掘を続けている。需要は一時激減したが、最近は大イール状の軟石を建物の外壁に使う注文が増えてい



南側の区画にある円形劇場。札幌軟石の採掘跡地の岩壁を背に、軟石を階段状に並べてある

いう。「どこか懐かしい、レトロな雰囲気再び見直されているのでは」と小原さん。緑地周辺を歩くと、札幌軟石でできた住宅や店舗に出くわす。軟石を守り伝える人と共うか。思案中の人に、道央圏の「とっておきスポット」を紹介する。(久保田昌子) (10回連載します)

札幌市南区石山78。入場無料。市営地下鉄南北線「真駒内駅」から中央バスの空沼・滝野方面行きで「石山陸橋」下車、徒歩約2分。無料駐車場有り(約50台)。問い合わせは藻南公園管理事務所 ☎ 011・578・3361へ。



■ギャラリータラオ (札幌市南区石山1の3、営業時間、休日ともに不定。来店の際は要連絡。☎090・2255・0639)

札幌軟石で制作した石像を展示、販売する。オーナーで木工家の若林克友さん(33)

### 札幌軟石の石像制作

は昨年4月、福島県天栄村から移り住み、3カ月後にギャラリーをオープン。木製のいすや小物も扱っている。ギャラリー近くの石山緑地で作品を制作することもある若林さんは「札幌軟石の柔らかくて優しい曲線に創作意欲をかき立てられます」。

